

《担当者名》 松尾淳司 山崎智拡 福元達也（非）

【概要】

感染症は古くからその存在が知られてきたものの、現代社会においても人類は未だその脅威から逃れることができていない。またSARS、トリインフルエンザ、SFTSなどの新しい感染症が発見されたこともあり、これら感染症が一旦大流行すると、パニックが発生するなど容易に社会問題となりうる。そのため、医療従事者は感染症について正しく理解し、日頃よりその対策に努めなければならない。本講義では、ヒトに感染症を引き起こす細菌、真菌、ウイルス、プリオンについて、分類、性状、病態、およびその検査法について学ぶ。

【学修目標】

- 1) 細菌の種類を挙げ、グラム染色性やその概要を説明できる。
- 2) 抗酸菌、偏性嫌気性菌の種類を挙げ、その概要を説明できる。
- 3) 特殊な細菌（マイコプラズマ、偏性細胞内寄生細菌）の種類を挙げ、その概要を説明できる。
- 4) 真菌の種類を挙げ、その概要を説明できる。
- 5) ウイルスの種類を挙げ、その概要を説明できる。
- 6) 検査材料に応じた検査法を挙げ、その概要を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション グラム陽性球菌1	・講義概要 ・スタフィロкокカス属 ・ストレプトкокカス属 教科書：p107-117	松尾淳司
2	グラム陽性球菌2 グラム陰性球菌	・エンテロкокカス属 ・ナイセリア属、モラクセラ属 教科書：p118-126	松尾淳司
3	グラム陰性桿菌1	・腸内細菌科1 教科書：p127-149	山崎智拡
4	グラム陰性桿菌2	・腸内細菌科2 教科書：p127-149	山崎智拡
5	グラム陰性桿菌3	・ブドウ糖非発酵菌 教科書：p169-174	松尾淳司
6	グラム陰性桿菌4 グラム陰性らせん菌	・ビブリオ属、エロモナス属、ヘモフィルス属 ・ボルデテラ属、フランシセラ属 ・レジオネラ属、コクシエラ属 ・カンピロバクター属、ヘリコバクター属 教科書：p150-167、p175-188	松尾淳司
7	抗酸菌	・マイコバクテリウム属 ・ノカルジア属 教科書：p197-207	山崎智拡
8	グラム陽性桿菌	・バシラス属 ・リステリア属、コリネバクテリウム属 教科書：p189-196	松尾淳司
9	偏性嫌気性菌	・偏性嫌気性菌とは ・バクテロイデス属 ・クロストリジウム属 教科書：p208-231	山崎智拡
10	スピロヘータ マイコプラズマ 偏性細胞内寄生細菌	・トレポネーマ属、レプトスピラ属 ・マイコプラズマ属、ウレアプラズマ属 ・リケッチア属、クラミジア属 教科書：p232-248	山崎智拡
11	真菌	・真菌症の検査と治療法 ・カンジダ属 ・アスペルギルス属	松尾淳司

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		・クリプトコックス属 教科書：p250-279	
12	ウイルス1	・DNAウイルス 教科書：p282-296	山崎智弘
13	ウイルス2 プリオン	・RNAウイルス ・プリオン 教科書：p297-315	山崎智弘
14	検査材料別微生物検査	・血液、髄液、尿、喀痰、糞便の検査法 教科書：p340-359	福元達也
15	まとめ	・まとめ	松尾淳司

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 80% 課題 20%

【教科書】

松本哲哉 編著「最新臨床検査学講座 臨床微生物学」 医歯薬出版 2017年

【参考書】

神谷茂 他 編著「標準微生物学 第13版」 医学書院 2018年

【学修の準備】

教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。（80分）

講義で学習した部分について理解しておくこと。（80分）

【ディプロマポリシーとの関連性】

（DP2）臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

【実務経験】

福元達也（臨床検査技師）

【実務経験を活かした教育内容】

病院（細菌検査室）での実務経験を生かし、検査材料に応じた検査法について講義する。